



(別添)

2025年10月30日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中国支所

News Release

ストーブとの程よい距離感が大切です ～「電気」「石油」暖房器具の事故を防ぐ 4+1 のポイント～ －中国5県版－

■ “電気” 暖房器具の4つの点検ポイント

- ☑ 電源コードや電源プラグが変形・破損していないか、コンセントがたこ足配線になっていないかを確認する。
- ☑ 本体に変色や変形等の異常がないかを確認する。
- ☑ 転倒時オフ機能が正常に作動するか確認する。
- ☑ 製品がリコール対象製品ではないか確認する。

■ “石油” 暖房器具の4つの点検ポイント

- ☑ ほこりがたまっていれば取り除く。
- ☑ 対震自動消火装置が正しく作動するか確認する。
- ☑ 燃料は新しい灯油を使い、昨シーズンの灯油を使用しない。灯油とガソリンは別の場所で保管するなど、誤給油を防ぐための対策を徹底する。
- ☑ カートリッジタンクの給油口ふたが確実に閉まっていること、漏れがないかを確認する。

【+1】暖房器具使用中の注意ポイント

- ☑ 暖房器具と壁や可燃物との距離が十分に確保できているかを確認する（洗濯物は乾かさない）。

1. 暖房器具の事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報では、暖房器具の事故は、中国地方5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県）では2020年から2024年までの5年間に28件発生しており、発生状況は以下のとおりとなっています。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に暖房器具の事故における「年別・県別」事故発生件数を示します。

表1 「年別・県別」暖房器具の事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
2020年		1	2	2		5
2021年	1				1	2
2022年	1	1	5	4	1	12
2023年			3	2	1	6
2024年				2	1	3
合 計	2	2	10	10	4	28

(2) 中国 5 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 に暖房器具の事故における「被害状況別・県別」事故発生件数を示します。

表 2 「被害状況別・県別」暖房器具の事故発生件数*1

被害状況※4		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
人的被害	死 亡		1	3	3	1	8
	重 傷		1		1		2
	軽 傷				2		2
物的被害	拡大被害	1		7	2	3	13
	製品破損	1			2		3
被 害 な し・不明							
合 計		2	2	10	10	4	28

(*1) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国 5 県の事故原因区分別 事故発生件数

表 3 に暖房器具の事故における「事故原因区分別・県別」事故発生件数を示します。

表 3 「事故原因区分別・県別」暖房器具の事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの	1		1	1		3
B：製品及び使い方に問題があったもの						
C：経年劣化によるもの						
G 3：製品起因であるが、その原因が不明のもの	1			1		2
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						
E：誤使用や不注意によるもの			1	2		3
F：その他製品に起因しないもの		1	1	1	1	4
G：原因不明のもの（G 3 を除く）		1	6	2	2	11
H：調査中のもの			1	3	1	5
合 計	2	2	10	10	4	28

2. 事故事例について

中国5県で発生した、暖房器具の事故事例を示します。

○事故事例1（消費者の誤使用）

2022年1月（岡山県、80歳代女性、拡大被害）

【事故の内容】

石油ファンヒーターを使用中、建物を全焼する火災が発生した。

【事故の原因】

石油ファンヒーターの残さからガソリンが検出されたことから、ガソリンの誤給油により異常燃焼が生じて出火に至ったものと推定される。

○事故事例2（消費者の不注意）

2022年3月（広島県、80歳代男性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の電気ストーブが転倒し、住宅を全焼した。

【事故の原因】

電気ストーブを不安定な状態で置いたため、転倒した際、正常に転倒時オフスイッチが働かず、通電が継続し、周辺を焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「転倒オフスイッチを正常に働かせるために、安定した床面などの上に設置する。」旨、記載されている。

3. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎3号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所

担当者：三谷、竹野

電話：082-211-0411

以上